

## 2023 年度南山大学外部評価委員会 実施要領

1. 開催日時：2023 年 12 月 2 日（土） 12:00～16:00
2. 開催場所：本部棟 3 階第 3 会議室 A・B
3. テーマ：南山大学の自己点検・評価の客観性・妥当性、および、内部質保証の有効性について  
～新たな体制に向けた南山大学の動向を中心に、今後を見据えて
4. 出席者：

### 【外部評価委員：5 名】

保立 和夫（ほたて かずお）氏	豊田工業大学学長
富田 宏治（とみだ こうじ）氏	関西学院大学法学部教授（元副学長）
川上 忠重（かわかみ ただしげ）氏	法政大学理工学部教授（大学評価室長）
山本 幸一（やまもと こういち）氏	明治大学 研究推進部研究知財事務室 副参事
村田 陽子（むらた ようこ）氏	株式会社三交イン代表取締役社長

### 【南山大学：20 名】

（敬称略）

学 長	ロバート・キサラ
内部質保証委員会 委員長 内部質保証推進委員会 委員長 副学長（研究推進・教育支援担当）	奥田 太郎
内部質保証委員会 委員 副学長（総務・将来構想担当）	星野 昌裕
内部質保証委員会 委員 副学長（学務担当）	岡田 悦典
内部質保証委員会 委員 副学長（グローバル化推進担当）	山岸 敬和
内部質保証委員会 委員 教務部長	花木 亨
IR 推進委員会委員長	大石 泰章
IR 推進室長	横山 哲郎
内部質保証委員会 委員 内部質保証推進委員会 副委員長 学長補佐	大原 寛史
学長補佐	佐々木 美裕
学長補佐	高田 一樹
学長補佐	三輪 まどか
内部質保証委員会 委員 大学本部長	児玉 和典
学長室長	伊藤 聡

学務部長	下山 裕司
内部質保証委員会 委員 内部質保証推進委員会 委員 教育・研究事務部長	藤田 哲也
教務課長	谷本 達哉
内部質保証推進委員会 委員 教育企画・研究推進課長	木村 友浩
事務局（教育企画・研究推進課 教育企画係長）	藤岡 義高
事務局（教育企画・研究推進課 教育企画係 主事）	三竹 薫平

5. タイムスケジュール 12:00～16:00

時間	内容	場所
12:00～12:55	外部評価委員事前打ち合わせ	第1会議室
13:00～13:05	開会（司会：大原寛史学長補佐）	第3会議室A, B
	外部評価委員長、委員のご紹介（奥田太郎副学長）	
13:05～13:10	学長挨拶	
13:10～13:15	外部評価委員長ご挨拶	
13:15～13:35	本学状況説明（奥田太郎副学長）	
13:35～14:40	意見交換、質疑応答	
14:40～15:10	外部評価委員打ち合わせ	第1会議室
15:10～15:50	外部評価委員講評	第3会議室A, B
	外部評価委員長総括	
15:50～16:00	お礼の言葉（学長）	
	閉会（大原寛史学長補佐）	

以上

2023年11月1日

南山大学外部評価委員会 委員各位

学長 ロバート・キサラ

2023年度南山大学外部評価委員会のテーマについて

### 【テーマ】

南山大学の自己点検・評価の客観性・妥当性、および、内部質保証の有効性について～新たな体制に向けた南山大学の動向を中心に、今後を見据えて

### 【2020年度認証評価結果と受審後の活動概要】

2020年度大学認証評価では、「適合」の評価をいただき、大学基準別では「基準7 学生支援」が4段階評価のうちの最上位であるS評価、「障がいのある学生への支援（基準7）」と「教育環境の整備（基準8）」の2点が本学の長所として評価されました。一方で、最も厳しい評価であるC評価は皆無でしたが、改善課題として、「教育課程の編成・実施方針への教育課程の実施に関する基本的な考え方の明示（基準4）」「学位授与方針によって求められている学習成果の適切かつ多角的な把握・評価（基準4）」「大学院の定員管理（基準5）」の3点のご指摘をいただきました。（別紙1）

この認証評価結果を踏まえて、「2019年度外部評価委員会報告書（別紙2）」のご提言のうち重点的に取り組むべき項目を2021年10月に「2019年度南山大学外部評価委員会評価報告書を受審して（別紙3）」として公表し、あわせて内部質保証委員会に改善を更に進めることを要請いたしました。

これを受けた内部質保証の中心を担う内部質保証委員会、その下部組織である内部質保証推進委員会、FD委員会の具体的な活動は以下のとおりです。

1. 「教学マネジメント指針（令和2年1月22日 中央教育審議会大学分科会）」を参考に、次回認証評価受審までを目途にした2027年度までの改善に向けた工程表を作成・更新し、学内での認識共有を進めています（別紙4）。
2. 内部質保証推進委員会にワーキング・グループを設置し、学習成果把握・評価の起点となるディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの改正に向けた検討を継続しています（別紙5）。
3. 認証評価改善課題である学習成果の多角的把握について、2021年度から2023年度は、学部・研究科が毎年度改善のための目標を設定して点検・評価を実施しており（別紙6）、2024年度以降の点検・評価について検討を進めています（別紙7）。
4. 学部・研究科の学習成果の把握方法の現状（2022年度）を確認しました（別紙8）。
5. 全学的なFDとして 学内での実践を中心にした「学生の主体的学び（2020年度）」、「オンラインを活用した国際共修（2021年度）」、「ポストコロナの授業の在り方（2022年度）」について情報を共有する企画を実施しました（別紙9）。

## 【2023 年度の新方針の説明】

2021 年度以降の内部質保証委員会での議論の中で、学部・学科、研究科等の各部署からのボトムアップのアプローチを重視すべき部分と、全学的な見地から執行部によるトップダウンのアプローチを必要とする部分が見えてきたため、教学マネジメントを大学レベル、学位プログラムレベル、個人レベルの三層間の有機的連関のもとで進めることのできる体制を構築すべく、2023 年度からの新執行部のもと、タスクフォースとしての「教学マネジメント構想体制」を立ち上げました（別紙 10）。この構想体制は、内部質保証委員会の外側で、まずはすべての学部・学科、研究科、事務の各課室を横断する形で議論し検討を重ね、内部質保証推進委員会および内部質保証委員会に原案を提案する機能を果たします。

こうした体制で進める理由は、主として、南山大学の現行の教員・事務組織体制のあり方にあります。現行の組織体制は、長い年月をかけて培われたものであり、一定の安定性と合理性を備えたものと言えますが、残念ながら、昨今の教学マネジメントに求められること、すなわち、全学的方針のもと、現場での実践が積み重ねられ、日々の実践から見えてきた諸課題を全学で共有し、大学としてそれを支援しながら改善を試みる、という実質的なフィードバックを実行することが困難な体制でもあります。こうした、いわばロバストだがレジリエントではない現行の組織体制では、教学マネジメントを実質化することができない、と判断し、現行の組織体制の中で可能な範囲内で、各部署間の連携と協働の実績を積み重ねていくことのできる方策を検討し、「教学マネジメント構想体制」を立ち上げた次第です。

なお、この「教学マネジメント構想体制」の導入自体が、これまでに実施されてきた内部質保証の営み（各学部・学科、研究科等による自己点検・評価等）を通じて明らかになってきた課題を改善すべく提案されたものであり、その意味で、これまでの南山大学の内部質保証の営みの大きな成果であると考えています。

この体制を起点に、学部・学科、研究科、および、事務の各課室の間の横断的なコミュニケーションを重ねることで、教学マネジメントの実質化の素地をつくり、内部質保証委員会等の機能充実につなげていくことを目指しています。これにより、南山大学の教育に対する学生の満足度の向上、大学で提供される授業内容の充実、さらには、大学全体として重点的に取り組むべき課題の明確化が促され、南山大学の魅力がよりいっそう増すものと考えています。

さて、「教学マネジメント構想体制」では、「教学マネジメント指針」で示された 5 つの項目に対応した 5 つのチームを編成し、チーム I（三つの方針）、チーム II（編成・実施）、チーム III（把握・可視化）、チーム IV（FD・SD・IR）、チーム V（情報公表）それぞれがチームごとに割り当てられた作業を進めております。

上記の内部質保証の具体的活動の 2 については、内部質保証推進委員会ワーキンググループによる作業成果も踏まえながら、主にチーム I が担い、大学と学部・研究科それぞれのディプロマ・ポリシーの体系的整理を進めています。また、見通しが立ち次第、チーム II ととも連動して、各学部・研究科のカリキュラム・ポリシーとの擦り合わせを、カリキュラムマップおよびカリキュラムツリーの原案作成等と並行して行ない、最終的には、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーそれぞれの原案を一貫性のある明確な仕方定め、学生にとって有益な形で提示する予定です。

他方、上記具体的活動の 3 と 4 については、主にチーム II とチーム III が担い、授業科目・教育課程の編成・実施と、学修成果・教育成果の把握・可視化に求められる方策の原案作りを進めています。内部質保証委員会の報告資料（別紙 11）にある通り、各学部・学科、研究科では、この数年のうちに、それぞれのディプロマ・ポリシーを意識した形での、提供授業の学習効果の適切かつ多角的な把握・評価に向けた検討が積み重ねられています。チーム II とチーム III の

作業では、それらの内容を踏まえた上で、チームⅠの作業の進捗に即する形で、アセスメント・テストや学修ポートフォリオの導入等の検討を進めており、今後、各教員がそれぞれに受け持つ授業の全学的な位置付けを明確に自覚して教育を行い、他方で、授業科目・教育課程の意義とその学修成果が学生の手元に明確な形で届けられる方策案を策定する予定です。

現時点では、ひとまず先行してチームⅠ、チームⅡ、チームⅢの作業を進めていますが、それらの進捗状況に合わせて、チームⅣとチームⅤの作業も徐々に軌道に乗せていく予定です。とりわけ、チームⅣについては、先行する3チームの提示する方策案の全学的な周知徹底のため、また、教学インスティテューショナル・リサーチ（IR）を通じたエビデンスに基づく教学マネジメントの実現のため、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会、インスティテューショナル・リサーチ（IR）推進委員会および推進室の活動の実質化に向けた作業に取り組む予定です。

これら5つのチームの動向を常に関係者全員が把握し、隣接チームの動向に建設的な助言をする場を設けるべく、学長のもと、教学マネジメント構想体制に関わるコアメンバー全員が一堂に会する教学マネジメント構想全体会議を定例開催しています。この構想体制は、さしあたり、2023年度末まで継続する予定であり、年度末までの進捗状況に応じて、構想体制のあり方も見直しながら進めていきます。

なお、これら5つのチームの作業に共通するのは、熟慮のもとに決定し実行に移した方策についての実質的な点検・評価を定期的に行い、改善に向けたフィードバックを継続させる仕組みの構築を行う、ということです。改善への実質的なフィードバックの仕組みを、最終的には内部質保証委員会に導入することで、一時的な改革に終始せず、継続的に教学マネジメントを点検・改善していける体制を確立することを目指しています。

各チームの会議記録、全体会議の議事録（別紙12）の通り、南山大学の教学マネジメント改革は、ようやく端緒についたばかりという状況です。委員のみなさまの幅広い知見のもと、南山大学のここまでの取り組みの妥当性、および、今後さらに取り組むべき課題等について、外部評価委員会の席においては忌憚のないご意見をいただき、更に、外部評価委員会報告書においてご提言等いただけましたら幸甚に存じます。

なお、ご不明な点のほか、必要な資料等がございましたら、南山大学外部評価委員会事務局にお問い合わせください。

南山大学外部評価委員会事務局

教育企画・研究推進課（木村、藤岡、三竹）

Phone : 052-832-3686

Email : [kenkyu-jimu@nanzan-u.ac.jp](mailto:kenkyu-jimu@nanzan-u.ac.jp)

**【資料】 Web 公開中資料にはリンクあり**

- ・別紙 1 [大学基準協会「南山大学に対する大学評価（認証評価）結果および評定一覧表」（2020 年度）](#)
- ・別紙 2 [2019 年度外部評価委員会評価報告書](#)
- ・別紙 3 [2019 年度外部評価委員会評価報告書を受理して](#)
- ・別紙 4 2027 年度認証評価までのスケジュール(2023 年度第 1 回内部質保証委員会報告資料)
- ・別紙 5 2023 年度内部質保証推進委員会 WG 会議記録等
- ・別紙 6 2020 年度～2022 年度第 6 回内部質保証委員会記録および審議資料（次年度点検・評価）
- ・別紙 7 2023 年度第 4 回内部質保証委員会記録および審議資料（2024 年度以降点検・評価）
- ・別紙 8 2023 年度第 1 回内部質保証委員会記録および審議資料（2022 年度学習成果把握）
- ・別紙 9 2020 年度～2022 年度全学 FD 企画案内等
- ・別紙 10 教学マネジメントの確立に向けた体制の整備について
- ・別紙 11 2023 年度第 1 回内部質保証委員会報告資料 6-1、6-2（学習成果把握）
- ・別紙 12 教学マネジメント全体構想会議およびチーム会議記録（2023 年 9 月 11 日～10 月 12 日）
  
- ・別紙 13 [南山大学「内部質保証の方針」](#)
- ・別紙 14 [「南山大学内部質保証規程」](#)
- ・別紙 15 [「南山大学内部質保証推進委員会規程」](#)
- ・別紙 16 [「南山大学外部評価規程」](#)
- ・別紙 17 [「南山大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程」](#)
- ・別紙 18 「南山大学インスティテューショナル・リサーチ（IR）推進委員会規程
- ・別紙 19 「南山大学インスティテューショナル・リサーチ（IR）推進室規程
- ・[南山大学「3つのポリシー」https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html](https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html)

以上